

令和6年度テレビ・ラジオ広報番組制作放送業務 仕様書

1 業務の名称

令和6年度テレビ・ラジオ広報番組制作放送業務

2 目的

市民の接触度が高い媒体であるテレビ・ラジオを活用して、市政情報を能動的に取得しない市民も含め、多くの市民に対し、市政情報を提供する。

3 契約の履行期間

契約締結日から令和7年（2025年）3月31日までとする。

4 業務内容

受託者は、以下(1)ア～ウのテレビ3番組及び(2)ア～エのラジオ4番組のいずれか一つ（または複数）の制作放送に係る、一切の業務（各番組に記載されている提案条件に係る業務、(3)に記載されている共通業務及び(4)に記載されている独自提案を含む）を行うものとする。

なお、いずれの番組も、必要に応じて既存番組の中でコーナーとして展開することも出来るものとする。

(1) テレビ番組

ア 若年層向け番組

(ア) 番組内容

市有施設やイベント、行政サービス等の市政情報や伝えることで市民の利益になると考えられる札幌市内の情報を、若者リポーターが特に若年層視聴者に向けて、分かりやすく紹介する。

(イ) 提案条件

- a 放送局は任意とする。
- b 放送回数は24回以上とする。
- c 出演者に、番組のターゲット層と同じ若年層のリポーターを組み込むものとする。
- d 出来る限り旬な情報を伝えるため、メイン素材は、原則として放送にできる限り近い日時に撮影したものを放送できる制作スケジュールとすること。なお、必要に応じて、過去に撮影した素材を活用することは妨げない。

イ まちづくり活動に関する番組

(ア) 番組内容

市民にまちづくり活動への参加を促すため、地域におけるまちづくり活動やボランティアの取り組み、イベントなどを紹介する。

(イ) 提案条件

- a 放送局は任意とする。

- b 放送回数は48回以上とする。
- c 出来る限り旬な情報を伝えるため、メイン素材は、原則として放送にできる限り近い日時に撮影したものを放送できる制作スケジュールとすること。なお、必要に応じて、過去に撮影した素材を活用することは妨げない。

ウ 「SAPPORO」をテーマにした番組

(ア) 番組内容

「SAPPORO」(サッポロスマイル)のコンセプトが、「笑顔になれる街」であることを広く浸透させるため、札幌の笑顔の源となる食、イベント、施設、自然などのほか、笑顔につながる活動に取り組む人や企業・団体、取り組みを紹介する。

なお、札幌の街の魅力は、道内他市町村があつてこそであることを視聴者に意識させるため、関連する札幌以外の市町村なども必要に応じて紹介するものとする。

(イ) 提案条件

- a 放送局は任意とする。
- b 放送回数は24回以上とする。
- c 内容に応じて、市外ロケを行うものとする。

(2) ラジオ番組

ア 市政情報を分かりやすく伝える番組(HBCラジオ)

(ア) 番組内容

広報誌に掲載している旬な市政情報や伝えることで市民の利益になると考えられる札幌市内の情報について、分かりやすく伝える。

(イ) 提案条件

- a 放送局は北海道放送株式会社(HBCラジオ)とする。
- b 放送時間は平日の日中(あさ9時~夕方18時)のうち、任意の時間帯とする。
- c 放送回数は24回以上とし、必要に応じて市長や市職員などの出演が可能なものとする。
- d 生放送を原則とし、複数のパーソナリティが掛け合いで伝える形式とする。
- e パーソナリティ自身が、委託者より提供する資料や自らが取材した内容を基に構成案及びシナリオ案を作成するものとする。

イ 市政情報を分かりやすく伝える番組(STVラジオ)

(ア) 番組内容

広報誌に掲載している旬な市政情報や伝えることで市民の利益になると考えられる札幌市内の情報について、分かりやすく伝える。

(イ) 提案条件

- a 放送局は株式会社STVラジオ(STVラジオ)とする。

- b 放送時間は平日の日中（あさ9時～夕方18時）のうち、任意の時間帯とする。
- c 放送回数は48回以上とし、必要に応じて市長や市職員などの出演が可能なものとする。
- d 生放送を原則とし、複数のパーソナリティが掛け合いで伝える形式またはパーソナリティが1名の場合はフリートーク調の形式とする。
- e 放送内容は、1か月分まとめて、放送月の前月中に委託者とパーソナリティでシナリオ案を基に打ち合わせを行い、決定するものとする。

ウ 若年層向け番組（株式会社エフエム北海道（AIR-G'））

(ア) 番組内容

若年層を主なターゲットに、イベントや市有施設、行政サービス等の旬な市政情報や伝えることで市民の利益になると考えられる札幌市内の情報について、現地レポートなどを交えて分かりやすく伝える。

(イ) 提案条件

- a 放送局は株式会社エフエム北海道（AIR-G'）とする。
- b 放送回数は24回以上とする。
- c 生放送を原則とし、複数のパーソナリティによる掛け合いまたはパーソナリティが1名の場合はフリートーク調の形式とする。
- d 原則イベントや施設等の現地から中継を行うものとする。
- e イベントや施設の職員など関係者の出演が可能なものとする。
- f 各月の初めに委託者が2回分のテーマ等を提供するとともに委託者と受託者で打ち合わせを行い、その上で受託者において出演者への質問事項を含めた構成案を作成するものとする。

エ 「SAPPORO」をテーマにした番組（株式会社エフエム・ノースウェーブ（FM NORTH WAVE））

(ア) 番組内容

「SAPPORO」（サッポロスマイル）のコンセプトが、「笑顔になれる街」であることを広く浸透させるため、SAPPOROパートナーズ（サッポロスマイルパートナーズ）の取り組みを紹介する。

(イ) 提案条件

- a 放送局は株式会社エフエム・ノースウェーブ（FM NORTH WAVE）とする。
- b 放送回数は24回以上とする。
- c 生放送を原則とし、複数のパーソナリティによる掛け合いまたはパーソナリティが1名の場合はフリートーク調の形式とする。
- d SAPPOROパートナーズの企業や関係者の出演が可能なものとする。
- e 各月の初めに委託者が2回分のテーマ等を提供するとともに委託者と受託者で打ち合わせを行い、その上で受託者において出演

者への質問事項を含めた構成案を作成するものとする。

(3) テレビ・ラジオ番組共通業務

ア 番組の企画、シナリオ等の制作、番組の編集、収録場所の選定・許可関係並びに関係者との折衝、取材で撮影した映像等、放送に要する一切の業務及び制作スケジュールの管理

※独自提案として番組素材の二次利用を提案する場合、市公式ホームページへの掲載や SNS への投稿などについて、受託者が関係者に許諾を取ることを。

イ 番組の制作放送に係るすべての費用の支払い

ウ 番組内容に合ったタイトルの提案

エ 視聴ターゲットに合った放送枠（曜日、時間帯）及び尺の提案

オ 別途本市が指定するファイル形式での制作物の提出

カ 実施期間：契約締結日から令和 7 年（2025 年）3 月 31 日まで

(4) 独自提案

ア 仕様に定めることを超えて市民に市政情報を提供する企画（テレビ・ラジオ以外の媒体も含めた市政情報の発信等）があれば提案すること。

イ 番組宣伝など視聴率向上につながる企画があれば提案すること。

ウ 広報番組の制作・放映のための費用の一部を負担する民間企業等を募ることもできるものとする。

5 権利関係

(1) 本業務の履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理する。

(2) この仕様に定めのない事項については、委託者及び受託者で協議の上、決定すること。

(3) 受託者は関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行すること。

(4) 委託者又は委託者の関係者から提供を受けた資料等は、本業務にのみ使用するものとする。ただし、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについては、この限りではない。

(5) 本業務の遂行にあたり、必要がある場合は相互調整のため打ち合わせを行うものとする。

(6) 本業務の遂行に伴う打ち合わせ、資料、計画等の内容については、外部に漏洩しないこと。なお、本契約が終了し、また解除された後においても同様とする。

(7) 受託者は、本業務の遂行にあたり、第三者の著作権、著作者人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権、プライバシー又は肖像権・パブリシティ権その他の権利を侵害しないことを保証す

ること。

- (8) 成果品の利用について、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、受託者が自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ委託者に何らかの損害を与えたときはその損害を賠償するものとする。

6 環境への配慮について

本業務においては、委託者が運用する環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

- (1) 電気、水道、油、ガス等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- (2) ごみ減量及びリサイクルに努めること。
- (3) 両面コピーの徹底やミスコピーを減らし、紙の使用量を減らすように努めること。
- (4) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。
- (5) 業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。

7 その他

本仕様書に定める事項のほか、札幌市契約規則及び関係法令を遵守すること。